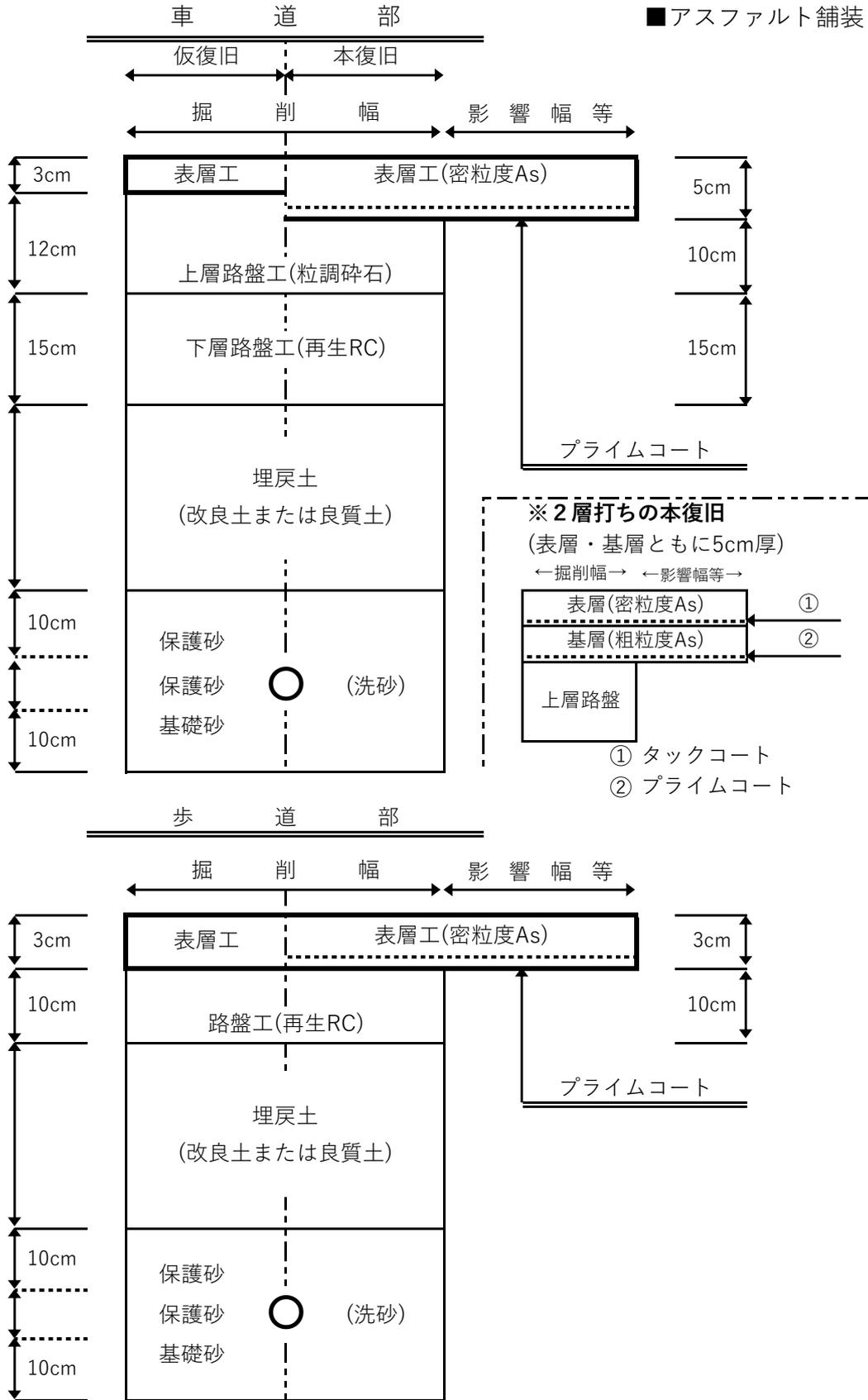


舗装復旧標準図 別図1

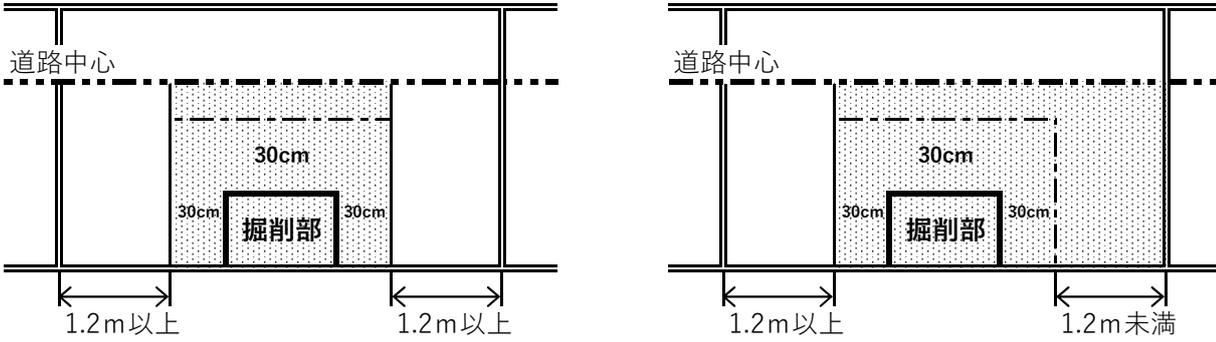


【注意事項】

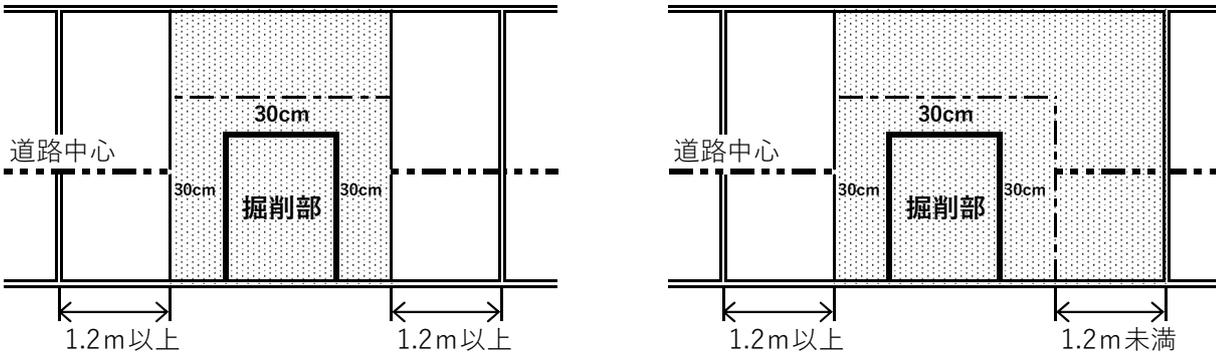
- (注1) 舗装復旧は原則として現況舗装構成と同等以上とする。申請時と異なった場合は、道路管理者に連絡し、舗装構成の指示を受けること。
- (注2) 下水道管の土被りは、車道においては1.0m、歩道においては0.6mとする。
- (注3) 埋設管の土被りが標準以下となる場合は、道路管理者と協議すること。

◎道路の舗装幅員4m未満の舗装復旧

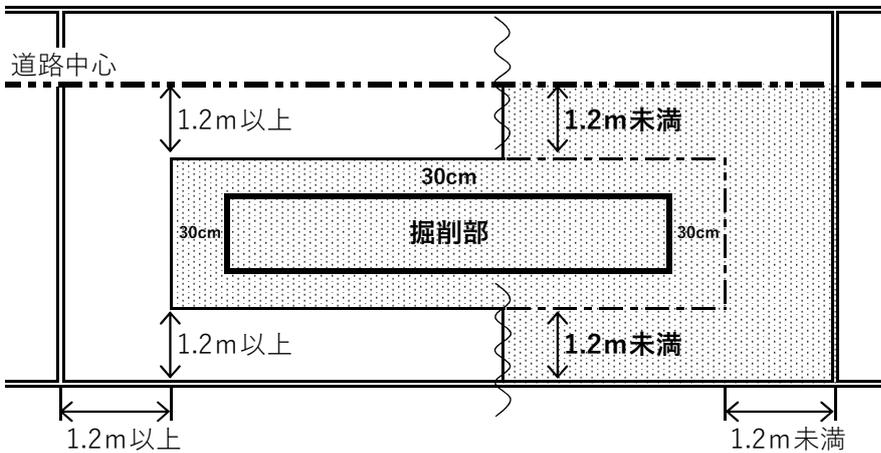
①影響幅が道路中心を超えない場合の範囲



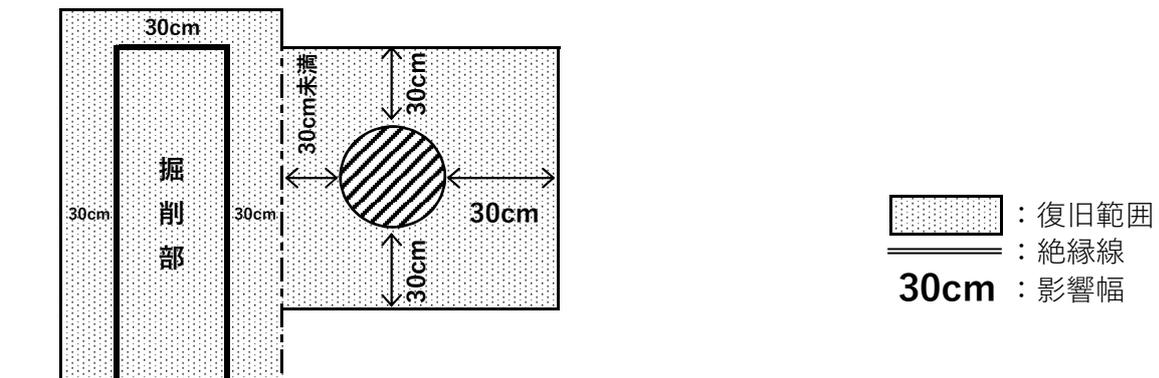
②影響幅が道路中心を超える場合の範囲



③道路縦断掘削の場合の範囲



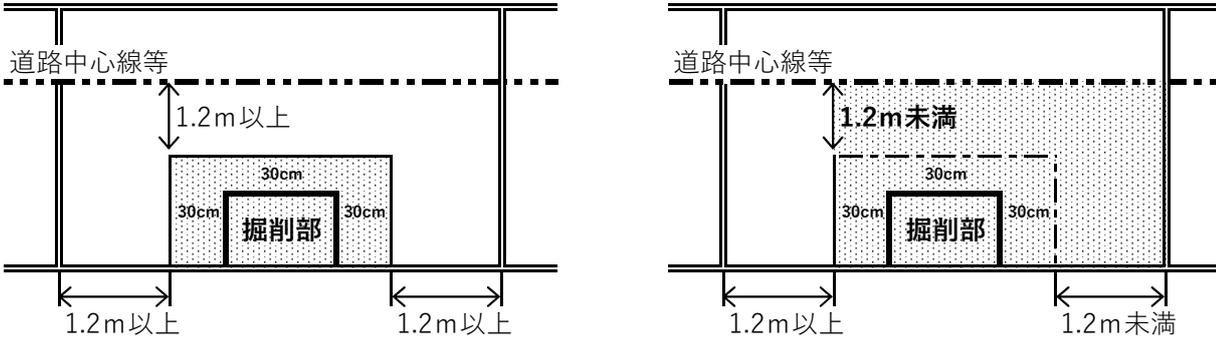
④影響幅から30cm未満に構造物(マンホール蓋等)がある場合の範囲



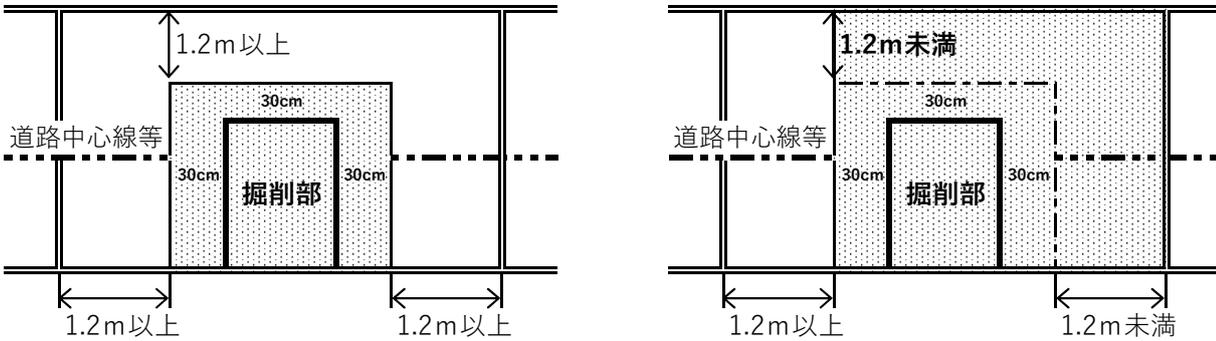
: 復旧範囲
 : 絶縁線
30cm : 影響幅

◎道路の舗装幅員4m以上の舗装復旧

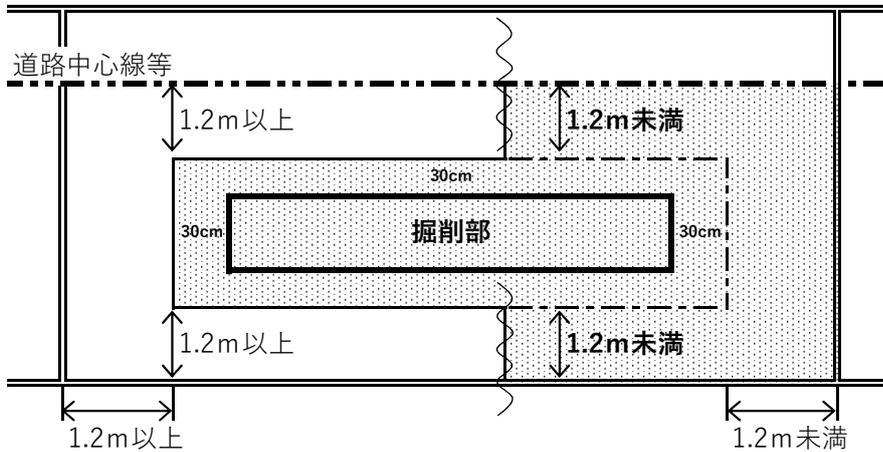
①影響幅が道路中心線等を超えない場合の範囲



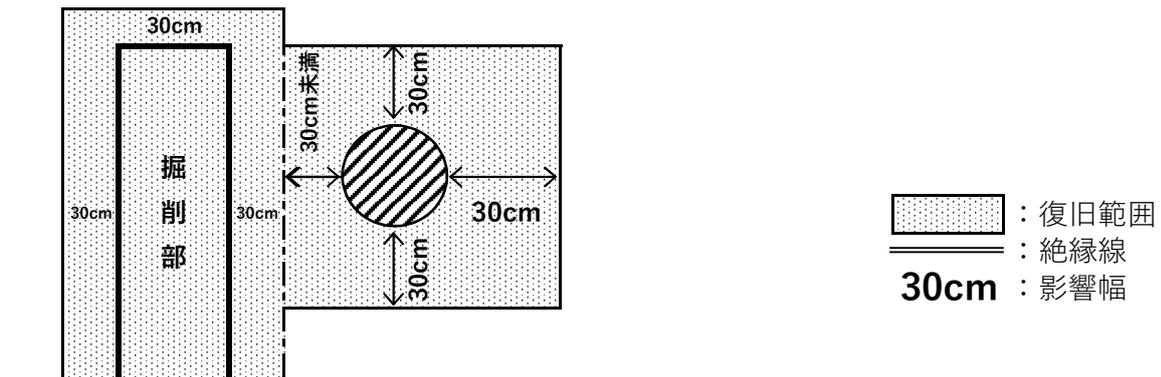
②影響幅が道路中心線等を超える場合の範囲



③道路縦断掘削の場合の範囲



④影響幅から30cm未満に構造物(マンホール蓋等)がある場合の範囲



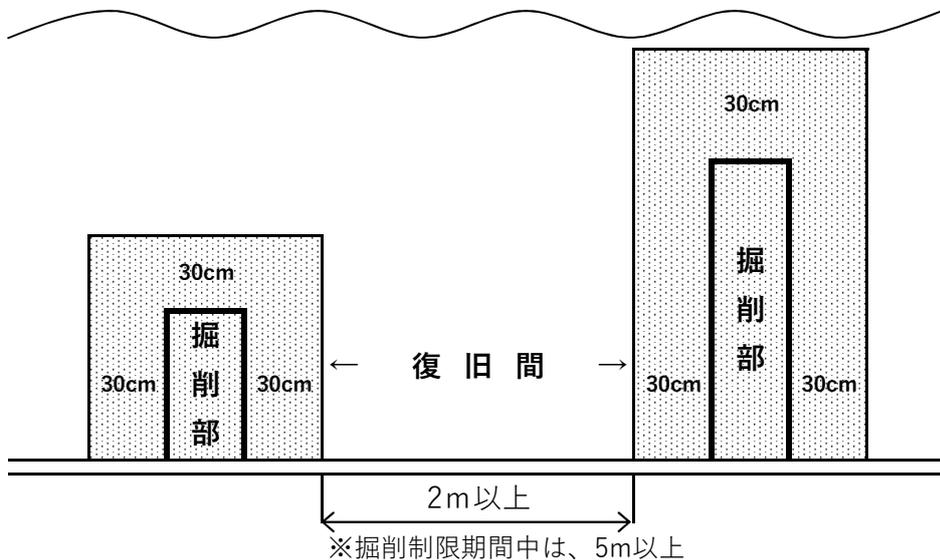
舗装復旧標準図 別図4

◎車道2箇所同時施工の舗装復旧

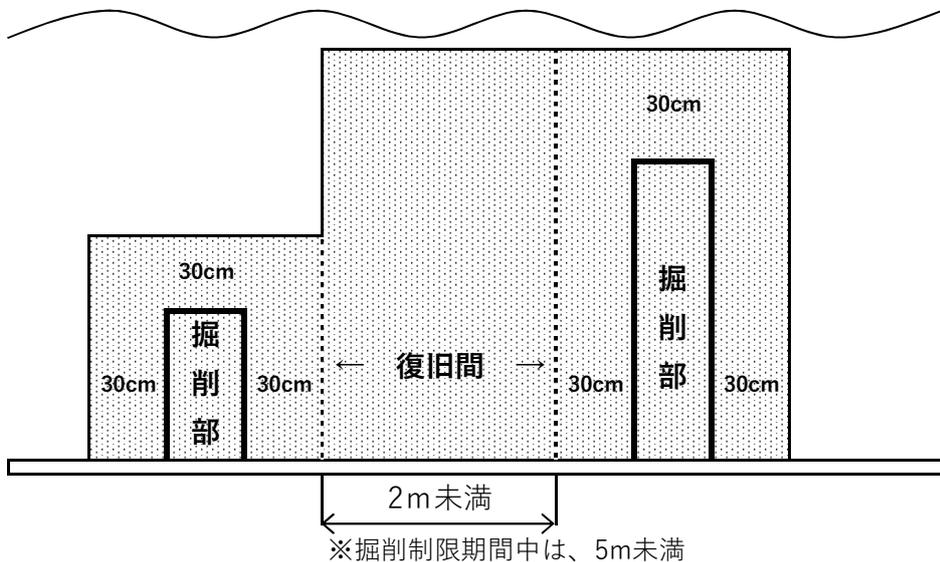
■ アスファルト舗装

▨ : 復旧範囲

① 2箇所以上を同時に施工し、復旧間の距離が2m以上※注2の場合



② 2箇所以上を同時に施工し、復旧間の距離が5m未満※注2の場合



(注1)復旧間とは、影響幅を除いた区間のことをいう。

(注2)道路の掘り返し防止期間の復旧間は、5mを基準とする。

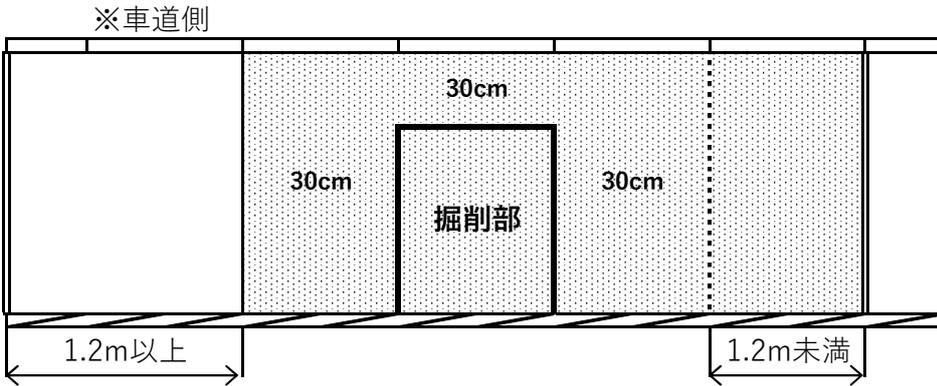
▨ : 復旧範囲

30cm : 影響幅

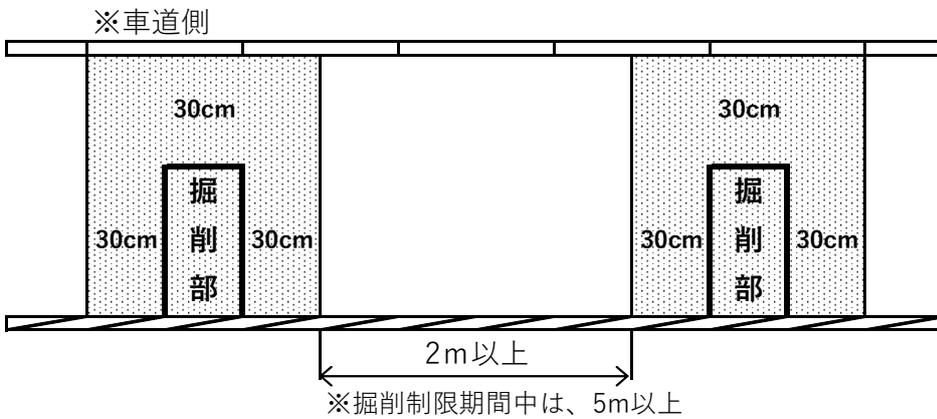
◎歩道及び2箇所同時施工の舗装復旧

■アスファルト舗装

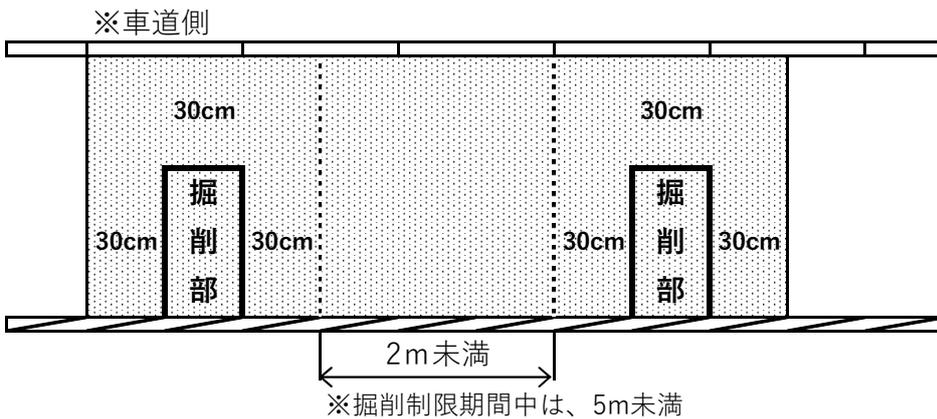
①影響幅から絶縁線までの距離による復旧範囲



②2箇所以上を同時に施工し、復旧間の距離が2m以上※4の場合



③2箇所以上を同時に施工し、復旧間の距離が2m未満※注4の場合



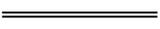
(注1)歩道部は幅員に関係なく全幅舗装とする。

(注2)頻繁に大型車や特殊車両などが乗り入れる場合は、別途協議すること。

(注3)復旧間とは、影響幅を除いた区間のことをいう。

(注4)道路の掘り返し防止期間の復旧間は、8m以上とする。

 : 復旧範囲

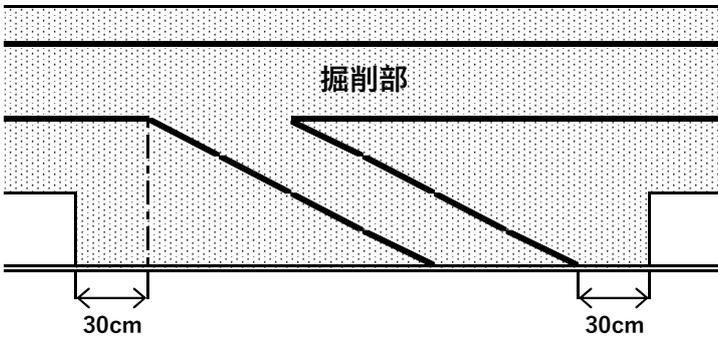
 : 絶縁線

30cm : 影響幅

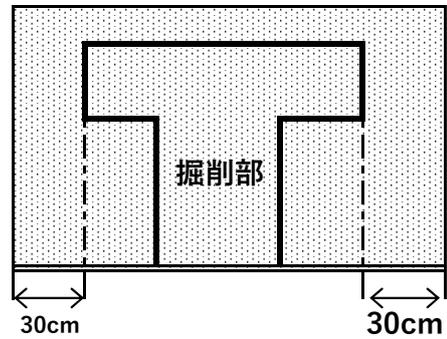
◎その他の舗装復旧

■アスファルト舗装

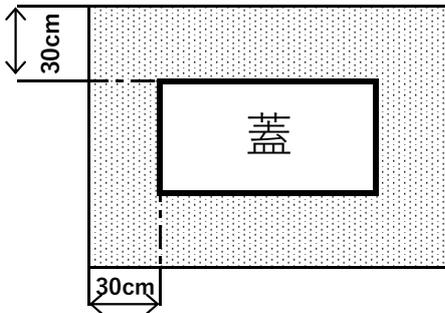
①斜め掘削の復旧



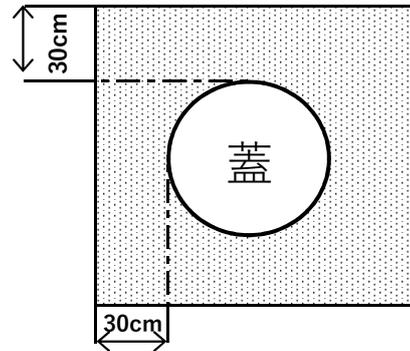
②掘削幅が異なる場合の復旧



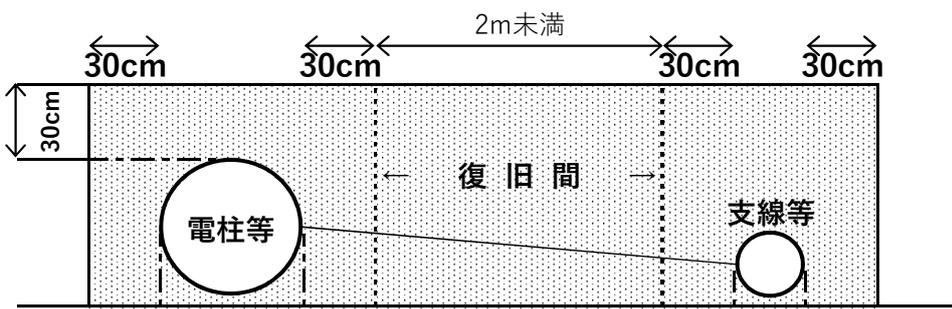
③消火栓等の周囲の復旧



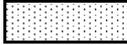
④マンホール等の周囲の復旧



⑤電柱等の周囲の復旧



(注1)復旧間とは、影響幅を除いた区間のことをいう。

 : 復旧範囲
 : 絶縁線
30cm : 影響幅